

高血圧と塩分の関係

「塩分を取りすぎると血圧が高くなる」とよく言われます。秋田県は全国のなかでも、塩分摂取量がトップクラスです。なぜ、塩分の取りすぎは血圧を高くしてしまうのでしょうか？また、高血圧は体にどんな影響をもたらすのでしょうか？



寺子屋「おくすり塾」

排泄機能には個人差があります。取りすぎた塩分をどんどん尿から出せる人もいれば、体にためこみやすい人もいるということです。体にためこみやすい人はそれだけ、高血圧になりやすいといえます。この違いを食塩感受性といいます。最近の遺伝子研究で、日本人は白人に比べて食塩感受性が高いことがはつきりしました。日本人は遺伝子の面でも、高血圧になりやすい民族なのです。

食塩感受性は、肥満や糖尿病、腎臓病などがあると高くなりますが、今、血圧が高くないからといってこの先ずっと血圧が上がらないわけでもないようです。

減塩のコツ

塩分の摂取を減らすためには、酢や香辛料をうまく利用する、みそ汁の具を増やして汁を減らす、ラーメンやうどんの汁を残す、はじめからしようゆをかけるのではなく、つけようゆにする、だしのうまみを効かせるなどさまざまな方法があります。要するに「薄味に慣れる」ということです。薄味に慣れるには2週間程度かかるといわれます。2週間だけがんばるというつもりでの食事を始めるのはいかがでしょうか？2週間たつたころには、逆に濃い味付けを塩辛いと感じるようになつていることでしょう。

お薬の話

血管は体にとって、必要な物資を運搬する道、つまり、道路のように運搬する道、つまり、道路のよ

減塩や、運動療法、心身のリラックスをはかるといった生活習慣を改善しても血圧が高いままの場合は、お薬を飲むことになります。お薬を飲んで、血圧を良好に保つことは、高血圧の先にある心臓病や、脳卒中の予防など多くの利点があります。

血压の薬にはいくつかの種類がありますが、お薬によつては、降圧効果ばかりではなく、心臓や腎臓を保護する作用もあることが分かりました。このため、血压があまり高くない方でも、お薬を飲んでいただくことがあります。

時々、「血压のお薬は一生やめられ

高血圧は別名「サイレントキラー」と呼ばれるように、本人に自覚症状がないことが他の病気と大きく違う点です。自覚症状がなくとも、高血圧が原因となって、血管がいたむことで、動脈硬化を起こし、血管がつまつたり破裂したりする重大な病気【脳卒中、心筋梗塞など】を引き起こしてしまいます。今、日本人の亡くなる原因の三分の一を脳卒中と心筋梗塞が占めています。同様に血管に異常がおこる腎臓病を加えると、日本人の半数は血管の病気で亡くなるといえます。

塩分をたくさん取っているのに血圧の低い人もいるけれど……

余分な塩分は腎臓で処理され、尿から排出されます。この塩分の量が減ったり、量が減ったりしたケースもあります。けれども、血压を良好に保つことには大きな利点があります。今、お薬を飲んでいる方は、あまり神経質にならず、医師の指示どおり服薬を続けください。

お薬を飲んでいる人にとっても、減塩は大事なことです。血压の中には、塩分摂取量が多いと効き目が落ちてしまうものもあります。今、特別血压が高くなつたときも、明日の健康のために減塩を始めることをお勧めします。

基準薬局リスト

大仙市

大曲調剤薬局	0187-66-2688	66-2918
大曲みよし薬局	0187-63-4440	63-4441
オオミ薬局	0187-62-0322	62-7221
おやま薬局	0187-62-7122	62-7123
こまち調剤薬局	0187-86-0363	86-0364
こまち調剤薬局太田店	0187-86-9070	86-9071
下山サカエ薬局	0187-62-5110	62-6431
下山薬局黒瀬店	0187-63-2818	63-2813
下山薬局サンロード店	0187-62-0481	62-7083
下山薬局福住店	0187-63-8008	63-8007
下山薬局本店	0187-63-8011	62-6943
全快堂薬局	0187-74-3030	74-3033
仙北調剤薬局	0187-63-5880	63-5899
たいよう薬局	0187-63-9200	63-9300
中央薬局	0187-63-2800	63-2801
ならおか薬局	0187-74-2280	74-2280
ヒカリ薬局	0187-86-5450	86-5460
日の出調剤薬局	0187-69-2300	69-2300
広小路薬局	0187-75-2233	75-2712
松田薬局	0188-892-3051	892-3480
みずほ薬局	0187-63-0350	63-0351
藤井薬局	0187-62-2458	62-2458
薬局すばる	0187-65-4141	65-4500
やまな薬局	0187-86-3330	86-3331

仙北市

くりや薬局	0187-43-0043	43-1143
さくら薬局	0187-54-4187	54-4187
成田漢方堂薬局	0187-43-0010	43-1100
西木調剤薬局	0187-52-5757	52-5888
ひまわり薬局	0187-44-3348	44-3340
薬局エール角館店	0187-52-1211	52-1210

仙北郡

清水堂薬局	0187-84-0011	84-0411
まひる薬局	0187-85-4000	85-4001
六郷さいたま薬局	0187-84-2825	84-2820



処方せん公文書の有効期限は処方日を含めて4日間です。

秋田県薬剤師会
秋田市千秋久保田町6-6 TEL.018-833-2334
E-mail info@akiyaku.or.jp
http://www.akiyaku.or.jp

うなものです。血管は高い圧力によつてダメージを受けます。交通量の多い道路、渋滞のひどい道路が劣化するのと一緒にします。交通量の多い道路にあたるのが、血管の中を流れる血液の量が多い場合です。塩分を多く摂取すると、血液中の塩分も多くなります。するとバランスをとるために、体は水分を多く取り込みます。これにより血液の量が多くなり、たくさんの血液を運搬するために、より高い圧力が必要となります。結果、血圧が上がり、血管に負担がかかるのです。

さらに、血液中の塩分(ナトリウムイオン)の量が増えると、電気的にバランスをとろうとして、細胞内のカルシウムイオンが増えます。カルシウムイオンは、血管を収縮させてしまします。つまり、渋滞のひどい道路となってしまうのです。これに、動脈硬化が進行すると、ますます渋滞がひどくなっていくのです。

よく言われます。秋田県は全国のなかでも、塩分摂取量がトップクラスです。なぜ、塩分の取りすぎは血圧を高くしてしまうのでしょうか？また、高血圧は体にどんな影響をもたらすのでしょうか？